

新しい支え合いの カタチ

平成31年4月～令和2年3月
(2019.04～2020.03)
活動報告書



特定非営利活動法人(NPO法人)
鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会

特定非営利活動法人(NPO法人) 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会 設立趣旨書

私たちの地域(鶴ヶ島第二小学校区)は、約3220世帯7170人が生活しています。年々高齢化が進み、高齢者の比率は25%(注1)を超えています。縁あってこの地域で生活をする私たちには、この地域がこれから人に優しく安全で安心して暮らせる地域であってほしいと願っています。

鶴ヶ島第二小学校区の10自治会は、従来から鶴二小を中心に、納涼大会や運動会、お祭りなどの諸行事を共に行い、平成20年には「鶴ヶ島第二小避難所運営委員会」を設立し、住民自身で主体的な地域防災に取り組んできました。また、アンケート調査で、多くの方から、「地域のために協力できる」と回答をいただきました。

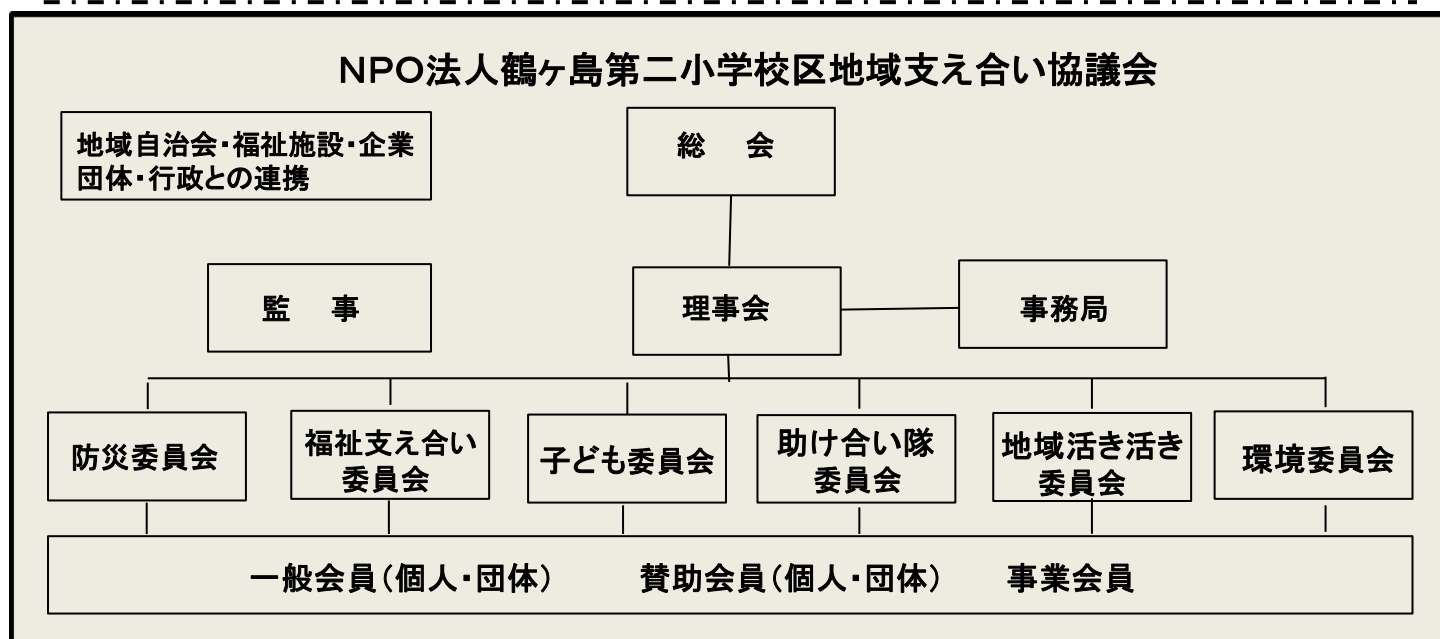
こうした実績をふまえて、この地域全体で助け合い、支え合う新たな地域づくりを目ざして、平成23年7月に「鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会」を発足させました。発足以来、「鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会」は、地域防災、福祉支え合い、子育て、助け合い隊などの多様な事業を、行政や、社会福祉協議会、自治会、各団体との連携で展開してきました。私たちは、これらの事業が地域の諸課題を行政にすべて頼るのではなく、地域住民自らが主体的に取り組む、共助の新たな仕組みづくりであると考えています。

これから先、地域の高齢化はさらに進むことが見込まれ、地域の抱える課題が増えていくと思われます。私たちは、地域課題に向き合って地域の力を結集し、責任ある活動を継続して行うために、「現鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会」をNPO法人にすることとしました。

私たちは、住民1人ひとりが自立自助の志を強め、知恵と力を出し合い、お互いに助け合う地域共助のカたちをつくりだし、新たな地域コミュニティを創造していきたいと考えます。この新しい取り組みに一層のご理解とご協力をいただきますよう心からお願い申し上げます。

平成25年8月25日

(注1)2019年(平成31年)4月1日現在 高齢者の比率:30.9%



2007年度(平成19年度)

平成20年3月20日、鶴二小通学区10自治会、学校長、公民館館長、市防災担当部所と協議し、鶴ヶ島第二小学校避難所運営委員会に関する申し合わせ事項を確認。

2008年度(平成20年度)

平成20年7月31日、新旧の10自治会長を含め、設立会議を開催し、鶴ヶ島第二小学校避難所運営委員会の活動をスタートし、地域住民が主体となって地域合同防災訓練など継続して実施。

2011年度(平成23年度)

通学区10自治会、民生児童委員、NPO法人、企業、地域包括支援センター、社会福祉協議会、行政などの連携協力により、平成23年7月6日鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会を設立。

2012年度(平成24年度)

平成24年10月1日、高齢者などの困りごとを有償でお手伝いするボランティア活動「鶴二助け合い隊」を開始。

2013年度(平成25年度)

平成25年8月25日、活動の広がりに応え任意団体から特定非営利活動法人鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会の設立に向け総会を開催し、その後埼玉県への認証申請を経て、同年12月2日法人となる。

2014年度(平成26年度)

平成26年4月27日第1回通常総会を開催。法人化の後、環境教育施設「eコラボつるがしま」の受付、案内業務や養命酒製造(株)の工場跡地の草刈り等の業務を受託。

2015年度(平成27年度)

平成27年5月10日第2回通常総会を開催。平成27年7月22日総務省地域力創造グループの「暮らしを支える地域運営組織に関する調査研究事業に関する研究会」の第1回研究会において協議会の活動を発表。

2016年度(平成28年度)

平成28年4月、鶴二支え合い協議会が中心となり社会福祉協議会・地域包括支援センター・近隣福祉事業者・南市民センターの世話人会議を重ね、「鶴二あんしんあったか地域ネット」が発足。

2017年度(平成29年度)

平成29年8月26日～27日、九都県市合同防災訓練(夜間宿泊訓練)を実施。11月18日、坂戸鶴ヶ島医師会より地域医療貢献者表彰と鶴ヶ島市長感謝状の贈呈を受けた。

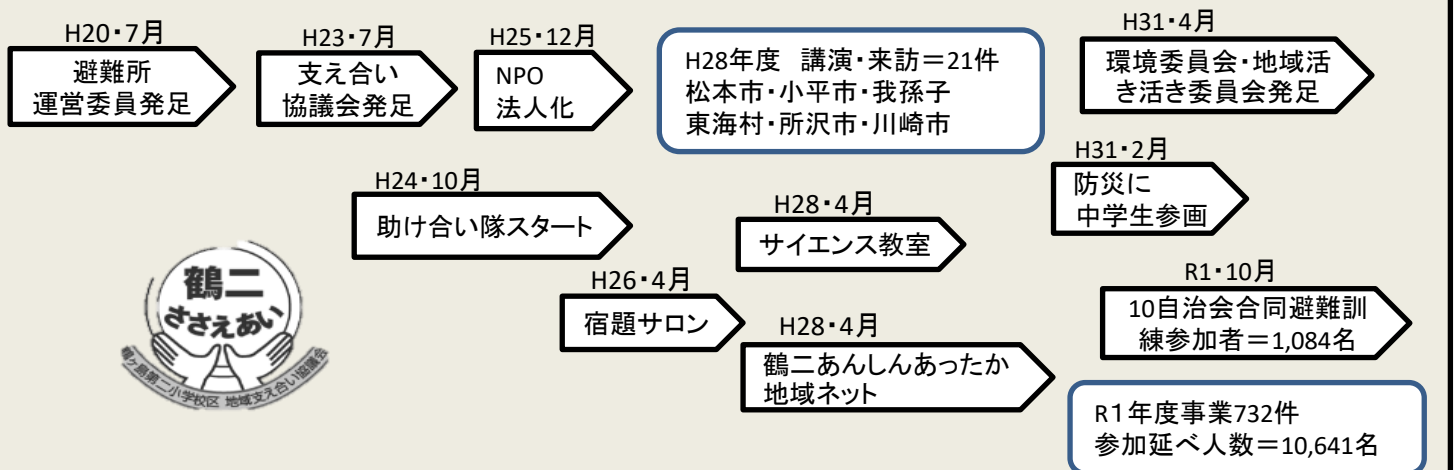
2018年度(平成30年度)

「実践に即した避難訓練」を実施するために、各自治会から選出された避難所運営委員と防災委員からなる鶴ヶ島第二小学校区自治会避難所実行委員会を立ち上げ、新たな避難所運営取り決め事項を作成した。

2019年度(令和元年度)

いままで個々に実施していた全体事業を、目標を明確化し相互の連携を図っていくために、「地域生き生き委員会」・「環境委員会」に再編成した。

NPO法人鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会の変遷



防 災

令和元年度活動報告

防災委員会

防災委員会は平成20年「鶴ヶ島第二小学校避難所運営委員会」の設立以来、地域自治会、小学校、福祉施設、近隣の大学、医師会、消防組合、行政等と連携を持って地域の住民が主体となって継続して地域合同防災訓練を行ってきました。

鶴二小避難所実行委員会

6月15日：19名 8月24日：53名 10月26日：29名

鶴ヶ島第二小学校区（10自治会）防災訓練
10月19日（土）午後1時30分～午後4時30分
合同防災訓練参加者：1,084名



本部テント設置



避難者カード受け取り



各教室に移動



炊き出し訓練



福祉避難所開設訓練



児童引き渡し訓練



トイレの組立て



ダンボールベットの組立て



ペーパーによるマスクづくり



新聞紙によるスリッパづくり



藤中ロープ・ブルーシート
活用研修会 9/11（48名）



藤中防災講演会
11/30（121名）



藤中3年生車いす講習会
2/5（158名）



鶴二小5年生防災ゲーム
2/13（41名）

中学生も参加する地域防災にむけて

令和元年6月
昼の時間帯で大地震が起きた場合、
鶴ヶ島の人口動態から見て、これに即
応できる者は地元勤労者・高齢者と中
学生が想定されます。したがって、地域
防災に中学生の参加は必須条件であり、
防災計画や防災訓練の中に中学生を
位置付ける必要があります。

（地域防災にむけて）

- ・中学生が地域防災に参加できる防災組織の検討を始め、継続的に関わるよう条件整備を進める。
- ・実践に即して訓練・講習を行う。
- ・日頃から防災意識の高揚を図る。
- ・地域防災担い手の広がりを図る。

福祉支え合い

令和元年度活動報告

福祉支え合い委員会

急速に進む高齢社会を踏まえ、高齢者が孤立しないよう、交流を重ね健康、生きがい、安心を得られるように福祉ふれあいサロン活動「エスポワール」「健康吹き矢教室」「ふれあい体操」を行ってきました。また、高齢化社会が抱える地域課題にむけて、9月に「地域福祉人権講演会」3月に「高齢者福祉介護セミナー」を毎年開催してきましたが、台風19号と新型コロナウイルス感染拡大のため中止を余儀なくされました。

高齢者サロン「エスポワール」(希望)

参加者の意見を尊重し毎回の催事を話し合いで決めます。これまで、映画鑑賞、歌声喫茶、会食会、ペタンクなど多種多様。第1・3金曜日 13:30～15:30 18回 参加者:361名



いちばんぼし・体操



ペタンク



ホテル会食



トランプ



いちばんぼし・合唱



輪投げ



映画鑑賞会



クリスマス



お汁粉

健康吹き矢教室

第2・3週土曜日 10:00～12:00

参加者:161名



ふれあい体操

第1・3・4週月曜日 10:30～12:00

参加者:318名



子ども委員会

地域の子どもの健やかに育てるため、自由な遊び場づくりプレーパーク、子育てサロン、宿題サロンを実施してきました。また、子育て支援講座、観劇会、昔あそび等を関係団体・小学校と連携協力し行ってきました。

塾でもない学校でもない「宿題サロン」

平成25年8月からスタート、地域のボランティアの協力で運営されています。勉強や宿題だけでなく児童に喜ばれる工夫をしています。

毎週月曜日15:00～17:00

夏休みも5日間開催。

参加者:966名



遊び場の活動「プレーパーク」

季節にあわせて水遊び、流しそうめん、バルーン遊び、餅つき等々、子どもたちが自由に遊べる場を作っています。年に何度かは関係団体と連携して市民の森などに繰り出します。

毎月第四土曜日10:00～15:00

参加者:450名

「子育てサロン」

未就学児童と子育てママの交流の場として親子そろって快適に過ごせる場所の提供。また、南市民センターとの共催のイベントも行います。祝祭日を除く月曜日～金曜10:00～15:00

自由にご利用できます。

参加者:347組



1年生と「昔あそび」をしよう

こま・折り紙・お手玉
竹ポックリ・おはじき
竹鉄砲・けん玉
ころころタンク・メンコ
紙飛行機・あやとり

1/22 9:45～11:30

児童:43名 スタッフ:24名

「観劇会」

この地域で親子で楽しめるお芝居を観ることはなかなかできません。毎年関係団体との協働による観劇会を行っています。

参加者:57名

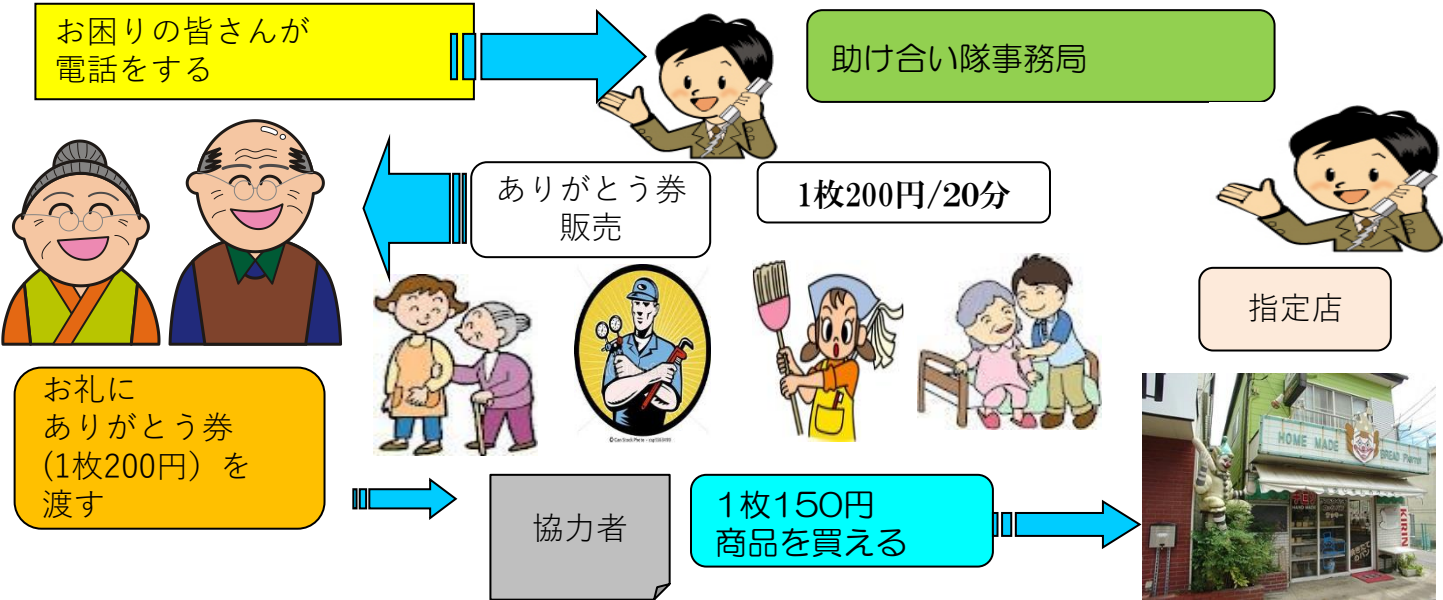


助け合い

鶴二助け合い隊

高齢者などの生活上の困りごとを、地域の元気な方の有償ボランティアで支え合い助け合う活動です。近年介護保険の改定などで高齢者の身近な生活支援などのお手伝いの要望が増えました。

【ありがとう券】という形にする事で、利用者は、気軽にお問い合わせを頼み、協力者は自分らしく利用者のお手伝いをする事が出来る、プロとは違う温かみを大切にしたい仕組み作りをめざしています。



「鶴二助け合い隊」実績 平成31年4月～令和2年3月

件数：128 協力会員活動者数：243人 利用時間合計：497時間45分				
	付き添い	修理・取り付け	掃除	お世話
活動内容 (件数)	病院 (5)	家具の移動 (5)	部屋 (3)	植木の剪定 (46)
	買い物 (1)	包丁研ぎ (5)	ゴミ捨て (3)	草取り (32)
	その他 (6)	障子張替 (3)	簡単な換気扇 (1)	話し相手 (11)
		その他 (1)	窓拭き (1)	パソコン指導 (3)
			エアコン (1)	その他 (1)
協力会員数 47人 利用会員数 150人				

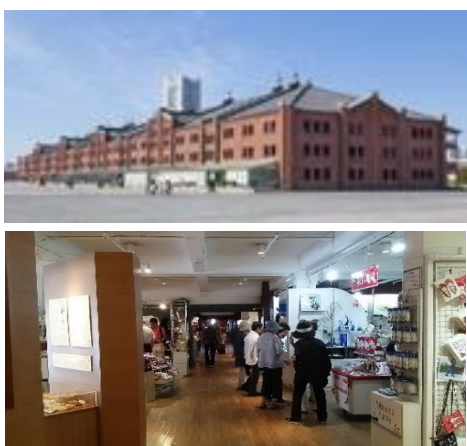
包丁研ぎ講習会 スタッフ6名
7/ 4(西部支え合い)：受講(29名)
10/25(北支え合い)：受講(30名)



包丁研ぎ会 スタッフ8名
9/ 3(17名):包丁33本
12/22(24名):包丁44本



買い物バスツアー 9/12(44名)
赤レンガ倉庫・海上保安資料館横浜
横浜中華街・横浜キリンピアビレッジ



地域ネットワークの推進を図る事業

協議会はまちづくりに係る活動や地域のイベントなどに積極的に参加・参画しています。また、協議会主体の事業活動や自治会、福祉施設などとの情報連絡会など実施しました。

第5回「地域デビューきっかけ広場」9月23日

60代前後の世代の皆さんが、地域活動団体に参加していただくイベント、実行委員として参加しました。

ステージ発表コーナー

鶴二白浪五人男



子ども体験コーナー

サイエン教室(実験体験)



第33回 南どんぐりまつり9月28日・29日

地域活動の拠点である南市民センターを支援するためにセンター利用者等と連携して積極的に参画しました。

焼きそば



バザー



環境教育施設見学者案内・施設管理

養命酒製造(株)は、鶴ヶ島太陽光発電所に隣接した場所に地域貢献事業として環境教育施設「eコラボつるがしま」を建設しました。この「eコラボつるがしま」は、環境教育施設だけでなく災害時の給電や給水能力が備わっており、地域の大切な資源であり、また住民の交流の場として活用しています。行事として「えこらぼ寄席」を実施しました。また、協議会では施設見学の受付案内業務、工場跡地の環境保全の草刈り作業も行っています。

eコラボつるがしま来館実績 入場者数:557名

えこらぼ寄席



草刈り作業



南市民センター健康講座

日時: 令和元年11月16日

内容:『より良い睡眠を得るために役立つお話』

講師: 鶴ヶ島在宅医療診療所

医学博士 吉田 哲先生

(日本睡眠学会専門医)

参加者: 63名



南市民センター地域課題講座

日時: 令和2年2月15日

内容:『ポーっと生きていないで見つけよう！
地域の困りごと』

活動: グループ活動・発表

まとめ

柴崎光生さん

特定非営利活動法人

ときがわ山里文化研究所 理事長

特定非営利活動法人

鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会 元理事長

参加者: 25名



環境保全を進める事業 サイエンス教室

環境教育施設「eコラボつるがしま」の有効活用を図り、自然科学や環境問題についての普及啓発に寄与するため、市内の小学生とその保護者を対象に「サイエンス教室」開催しています。

6/15: 電気を作ろう
児童35名・保護者25名



7/20: プラスチックを作ってみよう
児童40名・保護者32名



9/21: 電磁石・モーターを作ろう
児童21名・保護者8名



10/26: 化石を見つけよう
児童31名・保護者22名



11/16: 葉脈の標本を作ってみよう
児童11名・保護者6名



12/21: 電気を貯めよう
児童7名・保護者7名



落ち葉プロジェクト・緑地保全

落ち葉掃除しませんか

12月7日(土) 10:00~14:00 場所: どんぐり公園

集めた落ち葉を堆肥にします。ご家庭の落ち葉もご持参ください。なお、同時に焼き芋を作っています。ご一緒にいかがですか。



市民環境まつり(6月8日)

市内で活動する環境団体が協力してバザーや展示、コンテスト、ワークショップなど行い、身近なことから地球規模の環境課題について楽しみながら考え・体験できるまつり。

<コンテスト第2弾>

太陽のエネルギーで水の温度を上げよう!! 参加: 5団体・24名



こんなまちに住みたい・・・わたしたちのSDGs
今年5月、北海道で39.5℃が記録されました。「気候が変だよ」も挨拶の言葉になってきたようです。
私たちが住みたいのはどんな街だろう。
・エネルギーをたくさん使わなくては住めない街？
・外に出て深呼吸したくなる街？

※SDGs: 持続可能な開発目標

安全で安心して暮らせる地域づくり等に係る調査研究及び広報事業 鶴二あんしんあったか地域ネット

私たちの地域(鶴二小学校区)の中で高齢化により困った時に共に支え合い助け合う活動を行う。
○地域活動の縦割りの弊害をなくす。○ネットワーク化による横軸の関係を大切にする。

あんしんあったか
地域ネット世話人会

アンケート実施

目的:①生活課題を明確にする②会員の意識を高める
期日:配付12/20・回収締切り1/20 対象:会員293 回収92

地域の関係者が集い、ネットワークを組み、調整と協働の情報交換

安全で安心できる地域づくり

- 健康不安・介護問題
- 日常生活の困りごと(ゴミ出し・買い物・通院)
- 認知症(障がい者)の支援
- 家族の孤立化

いきいき暮らせる地域づくり

- 地域活動に積極的に取り組む人材の確保
- 男性高齢者の居場所確保
- 交流を広げる
- 子どもを見守り育てる

◆広報誌「鶴二支え合いだより」(A-4 表裏)

毎月600部発行、会員への配布、自治会の回覧、近隣福祉施設、公共施設等に配布しています。

◆Webなどの広報活動(「鶴二支え合い」で検索してください。)

「鶴二支え合い」ホームページ
<https://taggucchi.wixsite.com/tsuru2sasaeai>

活動内容や団体情報などを
お伝えしています。



「鶴二支え合い」ブログ
<http://blog.canpan.info/tsuru2sasaeai/>

イベント等のお知らせや日々の
活動報告などを投稿しています。



◆情報交換、来訪等

内容・団体名等

平成31年4月～令和2年3月



サミットin大阪パネル分科会登壇

期 日	内 容	団 体 名	人数
4月16日	来訪	総務省視察(国4・県2・市4)	9
9月9・10日	分科会	いきがい・助け合いサミットin大阪	3
11月8日	来訪	吉川市	16
11月22日	来訪	山形県きらりよしまネットワーク	22
1月25・26日	分科会	サミットinさやま	4

まちづくり・環境保全を進める事業



南市民センター植木剪定



鶴二小環境整備



藤中除草

インタビュー

協議会は設立以来、市民活動団体、事業所や個人など幅広い方々と連携協力し、地域課題に取り組んできました。ここで、地域に関わる皆さんにインタビューし、その思いを語っていただきました。

鶴ヶ島第二小学校校長

松田 仁 さん

Q 鶴ヶ島第二小学校との関係についてどのように思っていますか？

本校は、体験活動を重視しています。それは、座学だけでは得ることのできない貴重な学びがそこにあると考えているからです。また、「地域とともにある学校」を目指し、子どもたちが地域に出て地域から直接学ぶ活動、地域の方を学校に招いて様々な体験をさせていただく活動を数多く取り入れています。これらの活動の根底にあるのが、支え合い協議会の皆さんと学校とのつながりです。子どもたちも感じ取ってくれていると思います。支え合い協議会の事務局が学校の敷地内にある学校は他にはありません。地域の皆さんの温かい目に見守られながら、子どもたちは健やかに成長しています。今後も様々な場面での連携とご協力をお願いいたします。



Q 今後に期待することは何ですか？

幼いころから支え合い協議会の皆さんの活動を見てきた鶴二小の子どもたち。感謝の気持ちを持たせるとともに、「大人になったら自分も地域の役に立ちたい」という気持ちを持たせたいとも思っています。この地域がそんな“素敵な循環”が繰り返される地域であってほしいと願っています。

上広谷第二自治会会長

井上 雄三 さん

Q 自治会との関係についてどのように思っていますか？

毎年小学校納涼大会と10自治会合同訓練で協議会の皆さんには大変お世話になっております。特に防災訓練では、毎年準備をして頂きありがとうございます。台風等の被害は年々増しており、災害が起これば近隣住民で助け合いが必要です。自治会と支え合い協議会はこれからも益々関係を深くしていければと思います。

Q これからの協議会へのご意見や期待をお聞かせください。

支え合い協議会も自治会も高齢化問題がありますが、お互いの会員数を増やせていけたらと思います。これからも地域交流の中心として期待しております。



鶴二支え合い協議会 会長 細貝光義

謹啓 すがすがしい初夏の季節となりましたが、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

現在、これまで経験したことのない、新型コロナウイルスの感染拡大により、鶴二支え合い協議会は「新しい生活様式」に基づいた感染予防策を取り入れ、中止、活動内容や施設使用を制限しています。

最前線で新型コロナウイルスとたたかっている医師、看護師、医療従事者はじめ関係者の皆様、そして、営業自粛等その他制限をしいられている地域のすべての皆様に感謝いたします。

私たちの賢い判断と行動が求められています。

私たちが一致協力して粘り強く行動し、この難局を乗り越え、新型コロナウイルスに打ち勝ちましょう。

謹言

協力団体

令和元年度活動報告

久保団地自治会
藤の台団地自治会
上広谷第一西自治会
上広谷第二自治会
上広谷第三自治会
鶴ヶ丘第一自治会
鶴ヶ丘第二自治会
鶴ヶ丘第四自治会
鶴ヶ丘第五自治会
鶴ヶ丘第六自治会
鶴ヶ丘常葉会
鶴ヶ丘第二自治会寿会
上広谷第一長寿会
NPO法人 カローレ
独立行政法人 防災科学技術研究所
株式会社 メモリード 埼玉事業本部
養命酒製造株式会社
株式会社関水金属
株式会社ヤオコー 鶴ヶ島店
東洋大学
城西大学
女子栄養大学
日本医療科学大学
一般社団法人 坂戸鶴ヶ島医師会
坂戸鶴ヶ島市歯科医師会
坂戸鶴ヶ島市薬剤師会
鶴ヶ島市地域包括支援センター ペんぎん

鶴ヶ島市地域包括支援センター いちばんぼし
たちかわ脳神経科クリニック
鶴ヶ島耳鼻咽喉科診療所デイクアルーム
在宅訪問介護事業所 ベルグルー
みどりの風鶴ヶ島
ハーモニーライフ鶴ヶ島
あったかホーム鶴ヶ島
ニチイケアセンター鶴ヶ島
グループホーム鶴ヶ島
まごころの家 あゆみ 藤金
ナーシングホーム鶴ヶ島
デイサービス 花水樹
デイサービス はるかぜ
トータルファミリーサポート あゆみ
SOMPOケア ラヴィーレ鶴ヶ島
さかえ保育園
鶴ヶ島みどり保育園
鶴ヶ島駅西口商店会
鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校
鶴ヶ島市立鶴ヶ島第二小学校PTA
鶴ヶ島市立藤中学校
鶴ヶ島市立藤中学校PTA
鶴ヶ島第二地区青少年健全育成推進協議会
公益社団法人 鶴ヶ島市シルバー人材センター
社会福祉法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会
鶴ヶ島市
鶴ヶ島市南市民センター

その他、地域の多くの団体、個人の皆様にご協力頂いています。
(順不同)

発行者 特定非営利活動法人 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会

住 所 鶴ヶ島市鶴ヶ丘358-1 鶴ヶ島第二小学校南校舎 1階

電 話 049-298-7974(FAX同じ)

MAIL: s-2012039561@ah.wakwak.com

Web: <https://taggucchi.wixsite.com/tsuru2sasaeai>

ブログ: <http://blog.canpan.info/tsuru2sasaeai/>



Web



ブログ